

パーキンソン病に対する運動療法「LSVT BIG」の紹介

当院では1月より、パーキンソン病に対する新しいリハビリテーション(運動療法)である「LSVT BIG」が行えるようになりました。

「LSVT BIG」は、米国のRamingによりパーキンソン病の発話明瞭度改善目的で開発された「LSVT LOUD」の概念が基本になっています。「LSVT LOUD」は薬と同等のレベル1のエビデンスが証明されています。

「LSVT BIG」においても、Hoehn-Yahr1-3のパーキンソン病の方に有効性を示す報告が多数あります。

「LSVT BIG」は運動機能低下(動作の大きさの低下)、動作緩徐(動きの遅さ)をターゲットしております。動作の大きさのみに的を絞り、集中的な高い努力をうながすことで、正常な大きさで動くことを体験していきます。さらに日常生活の具体的な動作場面も想定して練習することで、新しく身につけた大きな動作を日常生活でも自然に行えるようにしていきます。

LSVT BIGプログラム

- LSVT BIGの認定を受けたセラピストとの個別練習になります。
- 1週間に4日間の治療を4週間実施します(全16回の治療)
- 1回の練習は60分(3単位)
- 毎日自宅で効果持続のための課題と宿題を行います。
(内容は担当セラピストが毎回作成します)



JAとりで総合医療センターリハビリテーション部

*「LSVT BIG」に興味のある方は、診察の際に主治医に相談をお願い致します。

*上記の内容で何かありましたら、リハビリテーション部 箱守までお声をおかけください。

LSVT BIG™

